

当報告の内容は著者の著作物です。

フィールド言語学ワークショップ勉強会（第2回） 「正規表現はじめの一歩」

開催日時：平成22年10月7日（木曜日）午後4時30分～午後6時

開催場所：AA研3階 マルチメディアセミナー室（306室）

講師：長崎郁（AA研特任研究員），澤田英夫（AA研所員）

概要：

この勉強会は、言語データの管理・整備・加工・変換の基礎の習得を目的に、定期的（月1, 2回, 1回につき1時間から1時間半）に開催されるものである。フィールド言語学ワークショップシリーズにおけるこの勉強会の役割は、これまでに開催されたワークショップの内容に対する補足と、今後開催されるワークショップへの準備という点にある。

第2回目の勉強会では、テキストエディター上で正規表現を用い、より効率的に検索・置換を行う方法を学んだ。正規表現では、検索文字列・置換文字列を表現するための各種メタキャラクター、エスケープシーケンスを理解・習得する必要があるが、勉強会は、「write と wrote, man と men のような語を同時に検索する」、「音節構造がCVCの語を検索する」、「英語の句動詞を検索する」、「余計なスペースや改行をとりのぞく」、「変化形も含めた人称代名詞を検索する」、「タブで区切られたリストの列を入れ替える」、「さまざまな生年（昭和43年, 昭45年, s21年など）のフォーマットを統一する」といった具体的な使用例を講師が解説し、参加者が実際に動かしながら理解を深めるという形で進められた。参加者は11名、今回も第1回勉強会と同様、博士前期課程在籍中の学生から日本語研究を専門とする研究者までバラエティー豊かな参加者に恵まれた。

受講者からの感想：

第2回勉強会の終了後、受講者から次のような感想が寄せられた。

- 説明が分かりやすかった。あとは自分で実践して練習する必要があると思った。
- 練習問題で犯しやすい間違いを経験できたことが良かった。
- 正規表現についての理解が深まった。
- 正規表現が検索だけでなく、置換でも使えるということを知ることができた。
- 子音・母音をとるなど、フィールド言語学的な内容で良かった。

- そもそもエディターなるものをほとんど知らない状態だったので有意義でした。
- パソコンが苦手な心配していましたが、少しずつ慣れてきて恐くなくなりました。
- 順を追って実際に使ってみるというのが、経験になってよかった。
- 分かりやすく、正規表現について自分の中で整理ができた。

報告書作成：長崎郁（AA 研特任研究員）